

令和5年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	木質チップ焚き温水機
型番	CSA-■■■GM（■はボイラ定格出力kW：130、180、230、300、400、500、650、800、950）
会社名	株式会社日本サーモエナー
本社所在地	東京都港区白金台3丁目2番10号 白金台ビル
会社WEBページURL	https://www.n-thermo.co.jp
製品紹介ページURL	https://www.n-thermo.co.jp/products/biomass/index.html

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社日本サーモエナー 特機事業本部 バイオマス営業部 (電話番号) 03-6408-8270 (E-mail) ds@n-thermo.co.jp (URL) https://www.n-thermo.co.jp
-----	--

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	M. 宿泊業、飲食・サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 P. 医療、福祉
導入対象となる分野・プロセス	給湯、浴槽加温、冷暖房、温水循環
導入事例の省エネ量（原油換算：kl）	13.2 kl/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率	— %
設備・システム当たりの想定省エネ率	22.8 %
導入事例における費用対効果（年間）	1.6 kl/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）	80,000,000 円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用	2,000,000 円/年

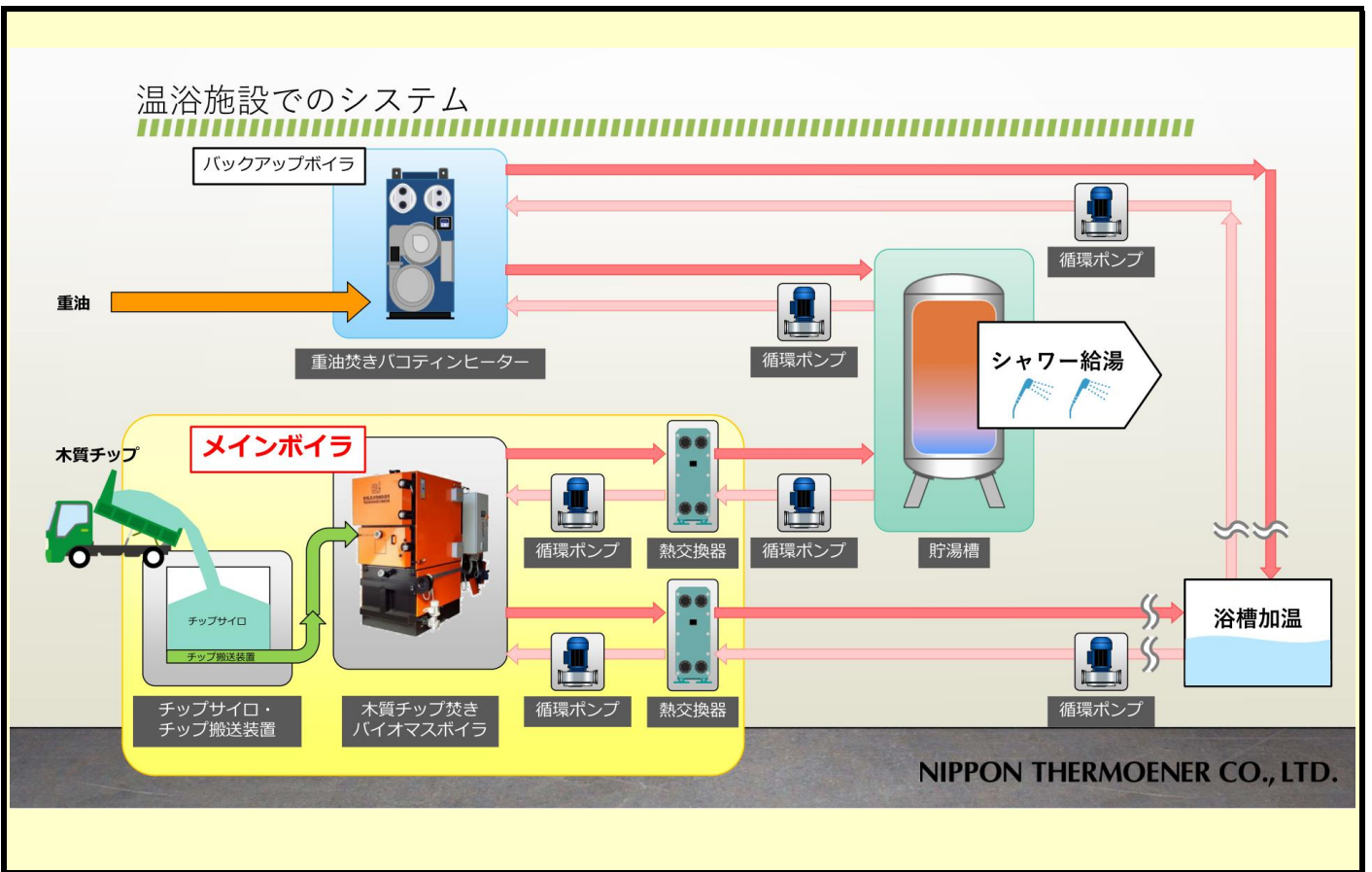
製品・システムの概要

<p>木質系バイオマスを燃料とした温水熱供給設備です。独自の熱供給システムにより、既存化石燃料焚きボイラの燃料を有効的に削減することができるので、省エネ、脱炭素が計れます。温水熱を多く利用する温浴施設、宿泊施設、福祉施設、スポーツ施設などに導入可能であり、それぞれ施設の熱利用状況に合わせてバイオマスボイラを選定することができます。</p>
--

先進性についての説明

<p>バイオマスボイラの燃焼器は、階段式ストーカ炉を採用しており、燃料チップの水分が35%WBでボイラは定格出力を発揮し、燃料チップの水分が50%WB程度でもボイラは出力調整しながら運転させることが可能です。 本設備のバイオマスボイラは、ボイラ技師等の有資格者が不要です。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	温浴施設	対象設備・プロセス	給湯、浴槽加温
-------	------	-----------	---------

バイオマスボイラ導入後の省エネ効果 (1ヶ年分)

- バイオマスボイラ : 木質チップ焼き温水機 CSA-500GM (出力500kW、ボイラ効率90%) 1台
- バイオマスボイラの熱供給量 : 3,519,300MJ
- バイオマスの燃料使用量 : 630.7t (水分60%WBの木質チップ燃料)
- A重油削減量 (燃料起源) : 105.315L
- 既設重油ボイラの重油消費量 : 67,474.3L
- バイオマスボイラの電力消費量 : 27,968kWh
- 省エネ量 (原油換算) : 13.2kL
- 省エネ率 (原油換算) : 22.8%

バイオマス燃料の備蓄と搬送

